

東証プライム 4631

DIC株式会社

2023年度第1四半期決算説明資料

2023年5月



Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

MSCI  MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

MSCI  MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)


Color & Comfort

DIC株式会社

ハイライト

1 Qの振り返り

売上高

2,552億円

前年同期比 +1.7%

営業利益

60億円

前年同期比 △49.0%

2023年の見通し

下方修正

配当は変更無し

- 前年同期比+1.7%の増収だが、現地通貨ベースでは△3.8%の減収となった。様々な業界分野において在庫調整の動きが見られ、出荷数量が減少した。特にファンクショナルプロダクツでは、電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野の製品の数量が減少した。モビリティを中心とするインダストリアル分野（※）ではサプライチェーンの在庫調整が長期化した影響により出荷数量が落ち込んだ。カラー & ディスプレイの顔料製品は主要市場である欧州における景気減速の影響を受けて出荷が減少した

※インダストリアル分野とは、自動車、鉄道、船舶などのモビリティ用途と建設機械、産業機械などの一般工業用途に係る製品分野の総称

- 多くの製品で原料コストを中心に価格対応に努めたが、デジタルやモビリティ関連を中心とした高付加価値製品や顔料製品の出荷数量が減少した影響により減益となった

- 需要の回復に当初計画よりも時間を要することから、売上高1兆1,000億円、営業利益380億円に下方修正
- 配当は年間100円で変更無し

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2023年1月1日から3月31日までの3ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

パッケージング&グラフィック（パッケージ用インキ、出版用インキ※）

2022年				2023年
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
+0%	△0%	△4%	△9%	△8%

カラー&ディスプレイ（顔料製品※）

2022年				2023年
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
△5%	△11%	△19%	△28%	△18%

ファンクショナルプロダクツ（パフォーマンスマテリアル製品※）

2022年				2023年
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
△6%	△6%	△5%	△10%	△15%

- 物価上昇の影響を受け消費財の需要が低調となり、出荷数量の減少が停滞する状況が続いた
- 中国はゼロコロナ政策解除後の市場回復が期待されたが、緩やかな回復に留まり、出荷数量は前年を下回った

※新聞インキを含む

- 主要市場である欧州の景気減速に伴う需要減と顧客による在庫抑制の動きなどから、全般的に出荷数量が減少した
- 前四半期との比較では、出荷数量は増加した
- ディスプレイ用顔料はパネルメーカーの在庫調整の進展により回復傾向
- 化粧品用顔料は、コロナからの回復の動きにより他用途よりも底堅く推移している

※2022年の前年同期比の計算からはC&Eを除外しているが、2023年からは計算に含めている

- 半導体市況の大幅な悪化により、エポキシ樹脂等のデジタル関連製品の出荷数量が減少
- モビリティを中心とするインダストリアル分野ではサプライチェーンの在庫調整が長期化した影響により出荷数量が落ち込んだ

※上場子会社と22年7月に買収した広東TOD社の数量は除外

セグメント別四半期業績推移

(億円)	売上高					営業利益				
	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q
パッケージング&グラフィック	1,209	1,366	1,399	1,357	1,315	34	42	61	65	36
日本	298	328	328	322	304	8	15	12	8	5
米州・欧州	753	868	891	862	862	21	23	39	44	26
アジア他	195	213	219	215	190	6	8	8	12	7
連結調整	△ 37	△ 44	△ 39	△ 42	△ 40	0	△ 3	2	1	△ 1
カラー & ディスプレイ	662	676	614	530	605	38	39	△ 6	△ 21	14
日本	91	102	79	75	81	15	21	5	6	10
海外	610	613	569	480	555	24	17	△ 11	△ 27	4
連結調整	△ 38	△ 38	△ 34	△ 26	△ 31	△ 1	1	0	0	0
ファンクショナルプロダクト	742	791	813	809	734	66	67	55	48	31
日本	520	556	538	555	500	43	46	33	24	11
海外	295	317	352	324	298	23	22	22	23	19
連結調整	△ 73	△ 82	△ 78	△ 70	△ 64	0	△ 1	0	1	0
その他、全社・消去	△ 103	△ 128	△ 88	△ 105	△ 102	△ 21	△ 27	△ 22	△ 24	△ 21
連結合計	2,510	2,705	2,737	2,590	2,552	117	122	89	68	60

連結損益計算書

(億円)	2022 1Q	2023 1Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	2,510	2,552	43	+ 1.7%	△3.8%
売上原価	△ 2,000	△ 2,073	△ 73		
販売費及び一般管理費	△ 393	△ 419	△ 27		
営業利益	117	60	△ 57	△49.0%	△49.2%
営業利益率	4.7%	2.3%	-		
金融収支	△ 4	△ 10	△ 6		
持分法投資損益	2	2	0		
為替差損益	8	△ 4	△ 12		
その他	1	△ 2	△ 2		
経常利益	124	46	△ 78	△63.1%	-
特別利益	-	-	-		
特別損失	△ 4	△ 6	△ 2		
税前利益	120	39	△ 80		
法人税等	△ 42	△ 19	23		
四半期純利益	78	21	△ 57		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 4	△ 2	2		
親会社株主に帰属する四半期純利益	74	19	△ 55	△74.4%	-
EBITDA*	233	170	△ 62	△26.8%	-

特別損益の内訳	2022 1Q	2023 1Q
特別利益	-	-
特別損失		
リストラ関連退職損失	△ 1	△ 4
固定資産処分損	△ 3	△ 2

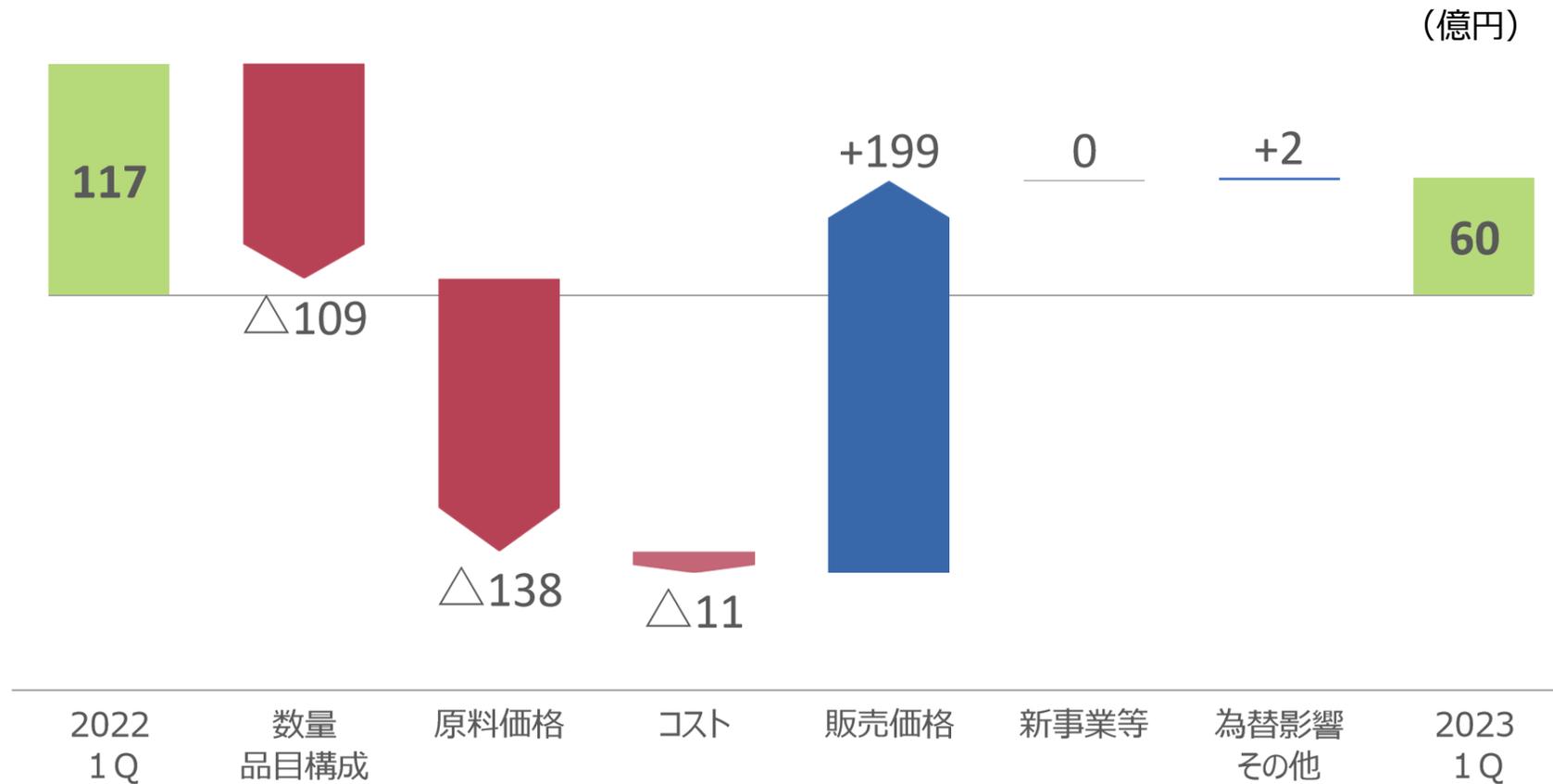
■ 平均レート

	2022 1Q	2023 1Q
USD/円	117.03	133.02
EUR/円	131.32	142.71

*EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

営業利益増減要因

- 電気・電子やモビリティに関連した高付加価値製品の出荷数量が減少したことにより、数量品目構成が悪化
- 価格対応や合理化に努めたものの減益となった



財務体質

(億円)	2022 期末	2023 1Q末	増減
ネット有利子負債	4,459	4,760	300
自己資本	3,870	3,873	3
ネットD/Eレシオ *	1.15倍	1.23倍	
自己資本比率	30.7%	29.6%	
1株当たり純資産 (円)	4,088.60	4,091.24	

* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

■ 期末レート

	2022 期末	2023 1Q末
USD/円	132.63	132.98

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q
パッケージング&グラフィック	1,209	1,315	106	+ 8.8%	+ 2.4%	34	36	2	+ 4.8%	+ 8.8%	2.9%	2.7%
日本	298	304	5	+ 1.8%	+ 1.8%	8	5	△ 3	△ 36.2%	△ 36.2%	2.5%	1.6%
米州・欧州	753	862	109	+ 14.5%	+ 5.2%	21	26	5	+ 23.0%	+ 30.6%	2.8%	3.0%
アジア他	195	190	△ 5	△ 2.5%	△ 7.6%	6	7	1	+ 15.7%	+ 15.7%	2.9%	3.4%
連結調整	△ 37	△ 40	△ 3	-	-	0	△ 1	△ 1	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	662	605	△ 58	△ 8.7%	△ 16.1%	38	14	△ 25	△ 64.1%	△ 62.8%	5.8%	2.3%
日本	91	81	△ 10	△ 11.2%	△ 11.2%	15	10	△ 5	△ 33.0%	△ 33.0%	16.4%	12.4%
海外	610	555	△ 55	△ 9.0%	△ 17.4%	24	4	△ 20	△ 85.0%	△ 82.6%	3.9%	0.6%
連結調整	△ 38	△ 31	7	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	742	734	△ 7	△ 1.0%	△ 3.7%	66	31	△ 35	△ 52.6%	△ 55.0%	8.9%	4.2%
日本	520	500	△ 20	△ 3.9%	△ 3.9%	43	11	△ 32	△ 73.5%	△ 73.5%	8.3%	2.3%
海外	295	298	4	+ 1.3%	△ 5.9%	23	19	△ 3	△ 15.1%	△ 22.1%	7.7%	6.5%
連結調整	△ 73	△ 64	9	-	-	0	0	0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 103	△ 102	1	-	-	△ 21	△ 21	0	-	-	-	-
連結合計	2,510	2,552	43	+ 1.7%	△ 3.8%	117	60	△ 57	△ 49.0%	△ 49.2%	4.7%	2.3%
USD/円	117.03	133.02		+ 13.7%		117.03	133.02		+ 13.7%			
EUR/円	131.32	142.71		+ 8.7%		131.32	142.71		+ 8.7%			

パッケージング&グラフィック

売上高

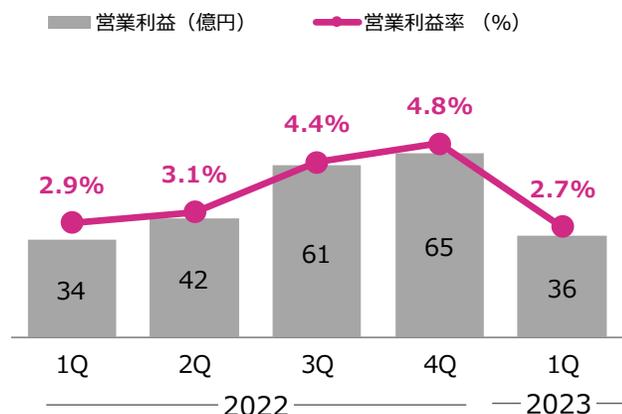
- 物価上昇の影響により消費財の需要が低調となり出荷数量が減少したが、価格対応に努めた結果、増収
- 中国はゼロコロナ政策解除後の市場回復が期待されたが緩やかな回復に留まり、アジア地域のみ減収となった

営業利益

- 日本では出版用インキを中心にコスト増加分に対する価格対応が追い付かず減益となった
- 米州や欧州を中心に海外でパッケージ用インキと出版用インキの価格対応に努めた結果、全体として増益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q
パッケージング&グラフィック	1,209	1,315	106	+ 8.8%	+ 2.4%	34	36	2	+ 4.8%	+ 8.8%	2.9%	2.7%
日本	298	304	5	+ 1.8%	+ 1.8%	8	5	△ 3	△ 36.2%	△ 36.2%	2.5%	1.6%
米州・欧州	753	862	109	+ 14.5%	+ 5.2%	21	26	5	+ 23.0%	+ 30.6%	2.8%	3.0%
アジア他	195	190	△ 5	△ 2.5%	△ 7.6%	6	7	1	+ 15.7%	+ 15.7%	2.9%	3.4%
連結調整	△ 37	△ 40	△ 3	-	-	0	△ 1	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 5%	物価上昇の影響を受け消費財の需要が低調となり各地域で出荷数量が減少したが、価格対応により増収
出版用インキ*	△ 0%	米州や欧州とアジアで出荷数量が減少したが、各地域の価格対応により前年並み
ジェットインキ	△ 5%	昨年 4 Qからの在庫調整により出荷数量が減少し、減収
ポリスチレン	△ 5%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少し、減収
多層フィルム	+ 11%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定による単価上昇により増収

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

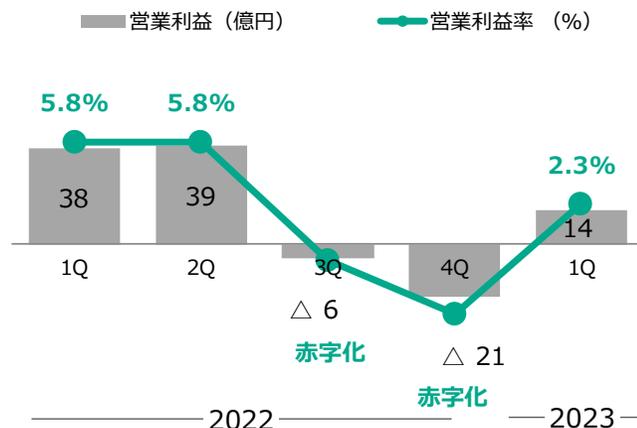
- 主要市場である欧州の景気減速に伴う需要減と顧客による在庫抑制の動きなどから、全般的に出荷数量が減少し減収となった
- ディスプレイ用顔料は、前年からのパネルメーカーによる在庫調整が進展したことにより、22年3Qを底に回復傾向にある

営業利益

- 塗料用顔料、プラスチック用顔料の出荷が落ち込んだことに加え、ディスプレイ用顔料などの高付加価値製品の出荷が回復途上であったことから、大幅な減益
- C&Eとの統合効果を最大限発揮させるため合理化および最適化の施策を推進。前四半期の赤字から脱却した

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q
カラー & ディスプレイ	662	605	△ 58	△8.7%	△16.1%	38	14	△ 25	△64.1%	△62.8%	5.8%	2.3%
日本	91	81	△ 10	△11.2%	△11.2%	15	10	△ 5	△33.0%	△33.0%	16.4%	12.4%
海外	610	555	△ 55	△9.0%	△17.4%	24	4	△ 20	△85.0%	△82.6%	3.9%	0.6%
連結調整	△ 38	△ 31	7	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
顔料 塗料用	△5%	景気減速による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだ
プラスチック用	△1%	景気減速による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだ
インキ用	△7%	景気減速による需要減少が見られ、出荷数量が落ち込んだ
化粧品用	+ 23%	アジアや欧州などで需要が回復した
ディスプレイ用	△4%	パネル在庫の調整が進み出荷数量は回復傾向にある
スペシャリティ用	+ 14%	農業向けは堅調だが、建築向けは欧州で出荷数量が減少した
ヘルスケア食品	+ 25%	値上げ前の前倒し需要により増収

ファンクショナルプロダクツ

売上高

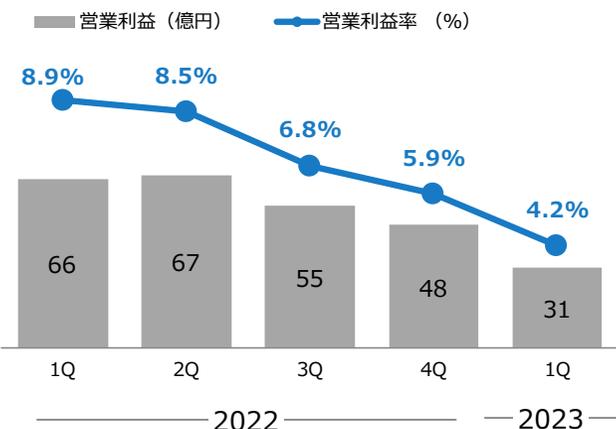
- 電気・電子やディスプレイを中心としたデジタル分野で大幅に出荷が減少した
- 自動車向け製品の出荷が、サプライチェーンの在庫調整の長期化や中国での自動車需要の停滞を背景に減少した

営業利益

- コスト増加分に対する価格対応に努めたが、高付加価値製品の出荷が落ち込んだことで品目構成が悪化し、大幅な減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022 1Q	2023 1Q
ファンクショナルプロダクツ	742	734	△ 7	△1.0%	△3.7%	66	31	△ 35	△52.6%	△55.0%	8.9%	4.2%
日本	520	500	△ 20	△3.9%	△3.9%	43	11	△ 32	△73.5%	△73.5%	8.3%	2.3%
海外	295	298	4	+ 1.3%	△5.9%	23	19	△ 3	△15.1%	△22.1%	7.7%	6.5%
連結調整	△ 73	△ 64	9	-	-	0	0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	製品名	増減比
エポキシ樹脂	△15%	PPSコンパウンド	+ 7%
ウレタン樹脂	△8%	工業用テープ	△15%
アクリル樹脂*	+ 42%	中空糸膜モジュール	+ 24%
水性樹脂*	+ 3%		
ポリエステル樹脂*	+ 6%		
UV硬化型樹脂	△10%		

デジタル関連は、半導体市場の低迷によりエポキシ樹脂の出荷数量が落ち込んだ。長期的には成長市場であるため、半導体製造装置向けの中空糸膜モジュールは好調に推移した。PPSコンパウンドは住設機器向けなど自動車以外の用途が堅調であった

* 2022年7月に買収した中国のコーティング用樹脂メーカー「Guangdong DIC TOD Resins Co., Ltd.」の売上が加わり増収

2023年度：通期の業績見通し

- 需要の回復に当初見通しよりも時間を要することから、上期見通しを下方修正
- 下期からの需要回復を見込み、下期見通しは据え置き

(億円)					前回見通し			
	2022	2023 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比		2022	2023 見通し	
売上高	10,542	11,000	+ 4.3%	+ 3.4%	11,500	ROIC* ²	3.6%	3.2%
営業利益	397	380	△4.2%	△5.6%	430	ネットD/ELシオ * ³	1.15倍	1.09倍
営業利益率	3.8%	3.5%	—	—	3.7%	年間配当/株 (円)	100.0	100.0
経常利益	399	340	△14.9%		400	配当性向	53.7%	55.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	176	170	△3.5%		200			
1株当たり純利益 (円)	186.05	179.59	—		211.30			
EBITDA* ¹	855	830	△2.9%		870			
設備投資・投融資	811	695	△14.3%		692			
減価償却費・のれん償却額	488	490	+ 0.4%		490			
平均レート	USD/円	130.59	+ 1.8%		130.00			
	EUR/円	137.71	+ 3.8%		140.00			

*²ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債+純資産)

*³ネットD/ELシオ：ネット有利子負債/自己資本

*¹EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益+法人税等合計+支払利息-受取利息+減価償却費+のれん償却額

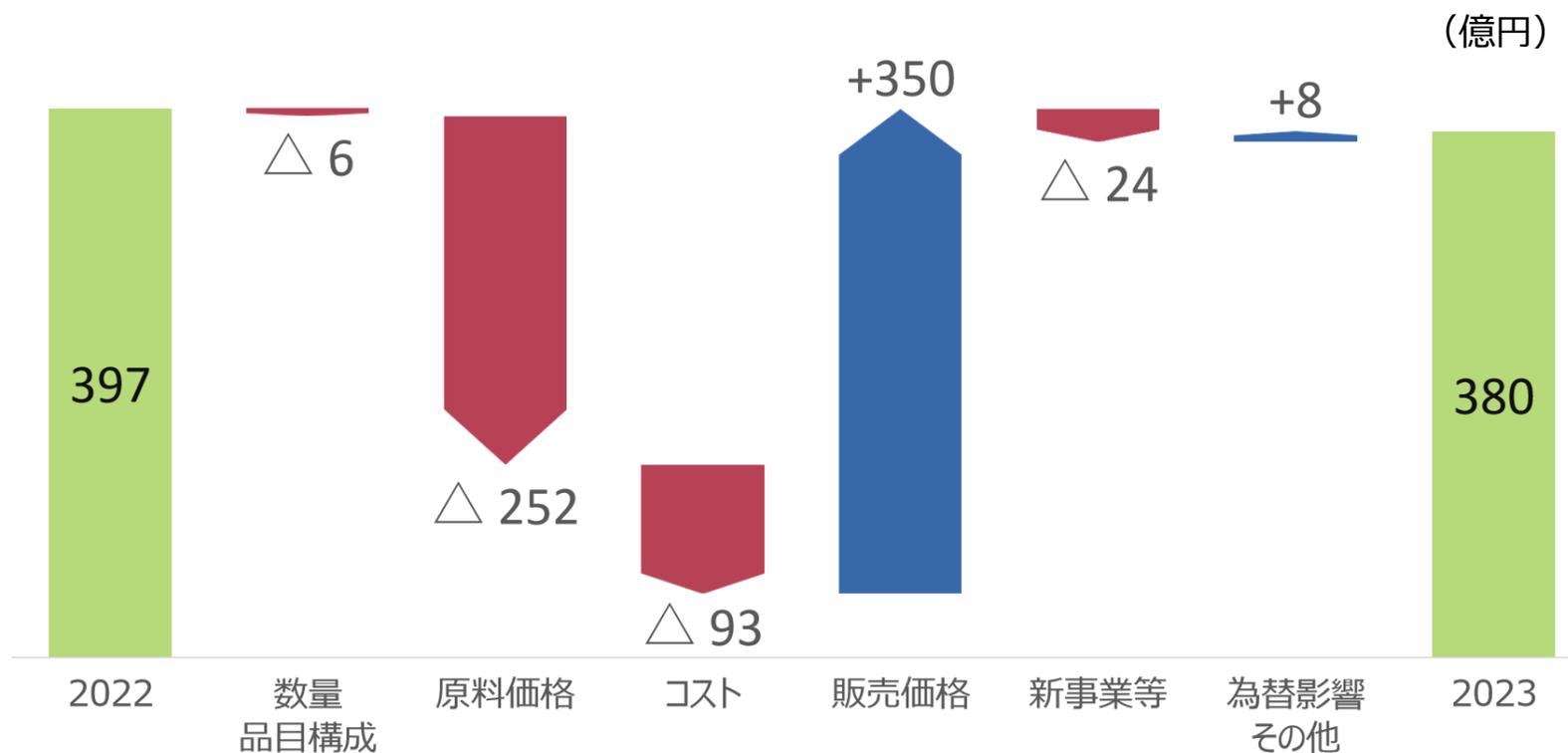
2023年度：上期の業績見通し

- 需要の回復に当初見通しよりも時間を要することから、上期見通しを下方修正

(億円)	2022 2Q	2023 2Q見通し	増減比	前回見通し
売上高	5,214	5,200	△0.3%	5,700
営業利益	240	140	△41.6%	190
営業利益率	4.6%	2.7%	－	3.3%
経常利益	262	120	△54.1%	170
親会社株主に帰属する四半期純利益	144	30	△79.2%	70
1株当たり純利益 (円)	152.03	31.69	－	73.95
平均レート	USD/円	123.25	+ 7.9%	130.00
	EUR/円	134.89	+ 6.0%	140.00

2023年度：営業利益増減要因

- ファンクショナルプロダクツを中心とした高付加価値製品やカラー&ディスプレイの顔料製品の需要回復に時間を要しているが、市場における在庫調整の進捗に従って当社の出荷数量も下期から徐々に回復する見通し
- 5月15日発表時点の前提となる原油価格（WTI）は\$80近辺を想定。地域ごとに原料価格に反映されるまでのタイムラグがあるが、全体として原料価格値下がり効果は緩やかに発現する見通し
- インフレによるコスト上昇が継続する見通し。適切な販売価格のコントロールにより収益性を維持する



2023年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2022	2023 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2022	2023 見通し
パッケージング&グラフィック	5,330	5,571	241	+ 4.5%	+ 3.5%	203	198	△ 5	△2.4%	△3.3%	3.8%	3.6%
日本	1,277	1,293	17	+ 1.3%	+ 1.3%	42	42	△ 1	△2.0%	△2.0%	3.3%	3.2%
米州・欧州	3,374	3,537	163	+ 4.8%	+ 3.2%	127	112	△ 14	△11.3%	△12.6%	3.8%	3.2%
アジア他	841	906	64	+ 7.6%	+ 7.7%	34	44	10	+ 29.6%	+ 29.1%	4.1%	4.9%
連結調整	△ 162	△ 164	△ 2	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	2,482	2,622	140	+ 5.6%	+ 4.3%	51	84	33	+ 65.1%	+ 61.0%	2.1%	3.2%
日本	347	351	4	+ 1.1%	+ 1.1%	47	58	11	+ 22.4%	+ 22.4%	13.5%	16.4%
海外	2,271	2,422	151	+ 6.6%	+ 5.1%	3	27	23	+ 699.2%	+ 636.1%	0.1%	1.1%
連結調整	△ 137	△ 151	△ 15	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	3,154	3,330	176	+ 5.6%	+ 5.2%	236	213	△ 23	△9.9%	△10.5%	7.5%	6.4%
日本	2,169	2,187	18	+ 0.8%	+ 0.8%	147	117	△ 30	△20.2%	△20.2%	6.8%	5.4%
海外	1,288	1,412	124	+ 9.6%	+ 8.7%	89	95	6	+ 6.9%	+ 5.5%	6.9%	6.8%
連結調整	△ 303	△ 269	35	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 424	△ 523	△ 99	-	-	△ 94	△ 115	△ 22	-	-	-	-
連結合計	10,542	11,000	458	+ 4.3%	+ 3.4%	397	380	△ 17	△4.2%	△5.6%	3.8%	3.5%
USD/円	130.59	133.00		+ 1.8%		130.59	133.00		+ 1.8%			
EUR/円	137.71	143.00		+ 3.8%		137.71	143.00		+ 3.8%			

主なトピックス (2023年2月~2023年4月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2023/> 

2月

DICグループの温室効果ガス排出削減目標がSBT (Science Based Targets) イニシアチブの認定を取得



■ 認定を取得した温室効果ガス排出削減目標 (基準年2019年)

Scope 1,2 : CO₂排出量を2030年までに27.5%削減

Scope 3 : カテゴリー2,3,4,5,12からの温室効果ガス排出量を2030年までに13.5%削減

カテゴリー1は、2027年までに購入金額の80%相当を対象にサプライヤーエンゲージメントを実施

3月

DICと出光興産、バイオマスポリスチレンの製造に向けた検討開始に合意

- DIC四日市工場において2023年後半までに製造開始予定

3月

「健康経営優良法人 大規模法人部門 (ホワイト500)」に6年連続で認定

主なトピックス (2023年2月～2023年4月)

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2023/> 

3月

米国デビュー・バイオテクノロジー社と、新しいバイオプロセスで製造された化粧品・ニュートリション向けポリフェノールの共同事業化を開始

- 新たに開発したポリフェノール製品をDICグループのグローバルな販売網を通じて世界中のスキンケアブランドに販売することを計画

3月

三井住友信託銀行株式会社とのあいだで、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結

4月

リチウムイオン電池の負極用水系バインダー「WATERSOL®-LB」を開発

- 環境負荷が低い水系の製品であり、優れた製品特性によりリチウムイオン電池の長寿命化に貢献

4月

グローバル全体最適のための「デジタルSCMプラットフォーム」を構築

- 先進のデジタル技術を活用し持続可能で強靱なサプライチェーンを実現
- カラーマテリアルやパフォーマンスマテリアルの一部の地域・事業から運用を開始し、2025年までにグローバル展開する予定

事業セグメントと主要製品

2022年度実績数値

提供価値

パッケージング&グラフィック



売上高
5,330億円



営業利益・率
203億円
3.8%

包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー&ディスプレイ



売上高
2,482億円



営業利益・率
51億円
2.1%

表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ



売上高
3,154億円

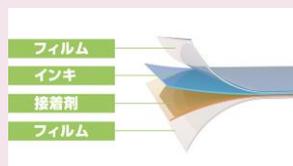


営業利益・率
236億円
7.5%

機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

パッケージ用インキ



包装材料

←ポリスチレン
↓多層フィルム

接着剤



ジェットインキ



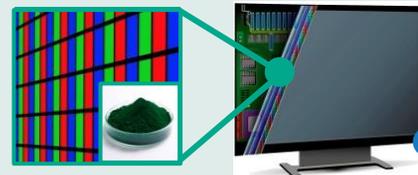
屋外看板用途



バナー用途



ディスプレイ用顔料



化粧品用顔料



スペシャリティ用顔料



農業用途



建材用途

天然系色素



塗料用顔料

プラスチック用顔料

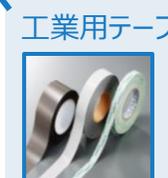
インキ用顔料



◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆



UV硬化型樹脂



工業用テープ



エポキシ樹脂

中空糸膜モジュール



◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆

水性樹脂
アクリル樹脂

ウレタン樹脂
ポリエステル樹脂

PPSコンパウンド



連結貸借対照表 (参考)

(億円)	2022 期末	2023 1Q末	増 減
流動資産	6,600	7,007	407
有形固定資産	3,535	3,599	64
無形固定資産	788	793	6
投資その他の資産	1,694	1,697	3
資産合計	12,616	13,096	480
流動負債	3,899	4,114	215
固定負債	4,507	4,767	260
負債合計	8,405	8,881	475
株主資本	4,118	4,090	△ 28
その他の包括利益累計額	△ 248	△ 217	31
(為替換算調整勘定)	(△ 173)	(△ 125)	(48)
非支配株主持分	341	342	1
純資産合計	4,211	4,215	4
負債純資産合計	12,616	13,096	480
有利子負債残高	5,093	5,754	661
現預金残高	634	994	361
ネット有利子負債	4,459	4,760	300

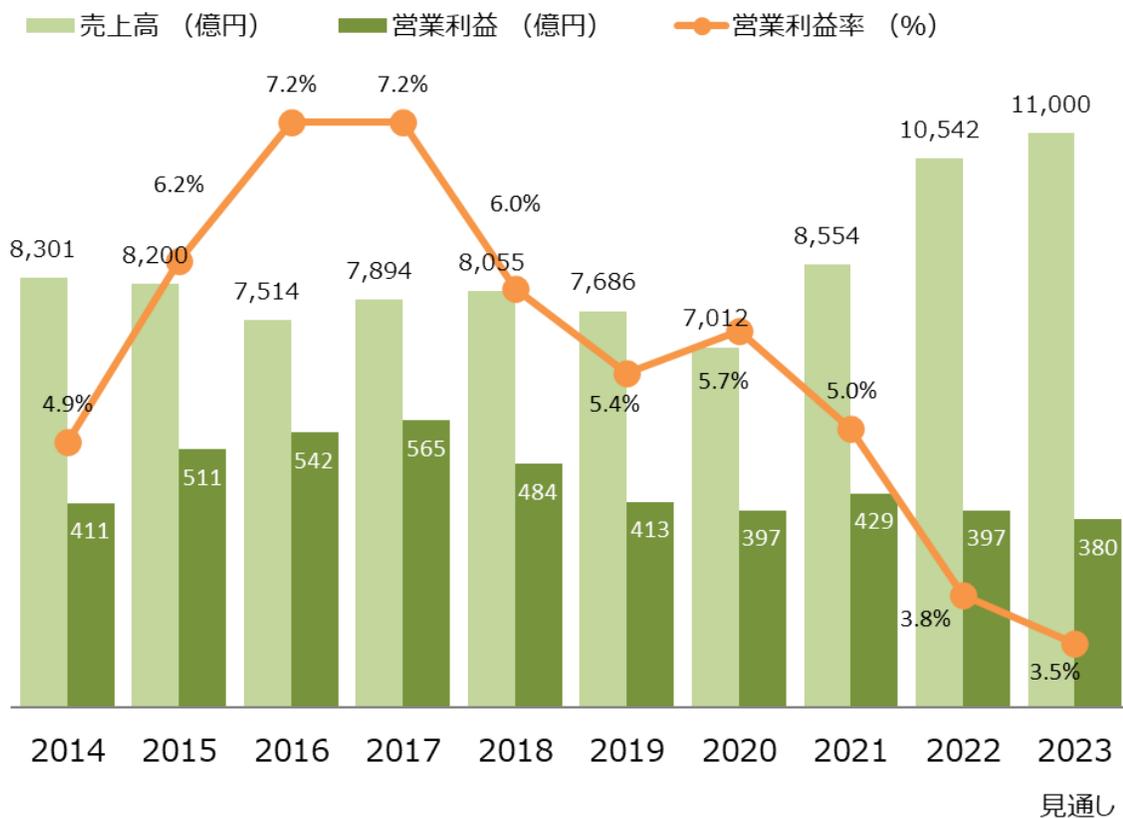
連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

(億円)	2022 1Q	2023 1Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	△ 80	△ 44	35
投資キャッシュ・フロー	△ 205	△ 185	20
財務キャッシュ・フロー	1,098	602	△ 495
現金及び現金同等物の期末残高	1,226	980	△ 247
フリーキャッシュ・フロー	△ 285	△ 229	55
運転資本の増減額	△ 231	△ 71	161
設備投資・投融資	247	181	△ 67
減価償却費・のれん償却額	113	123	10

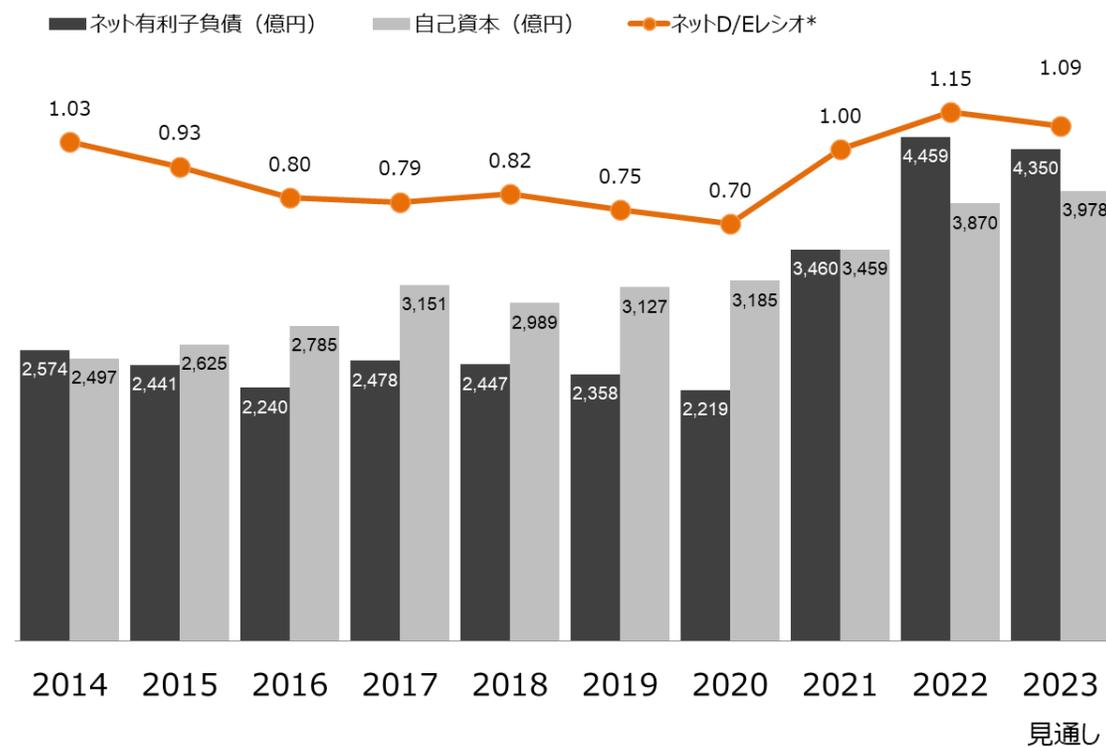
注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です。

業績の推移 (参考)

業績



財務体質

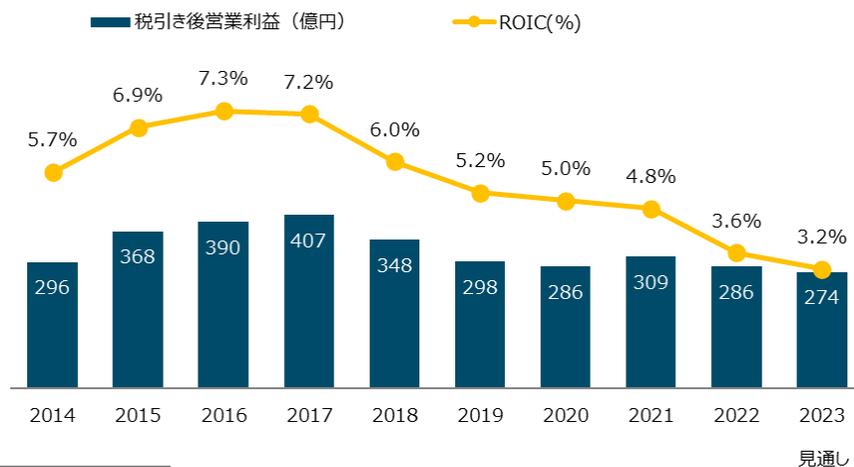


* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

業績の推移 (参考)

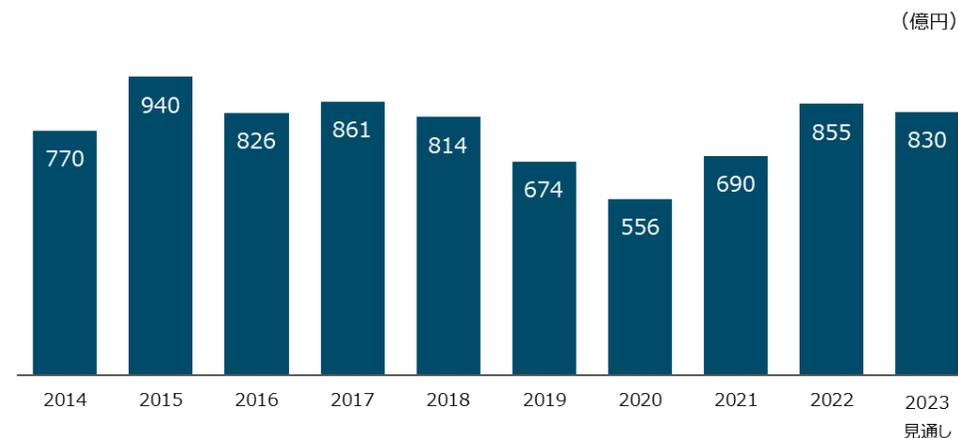
ROIC*

*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)



EBITDA*

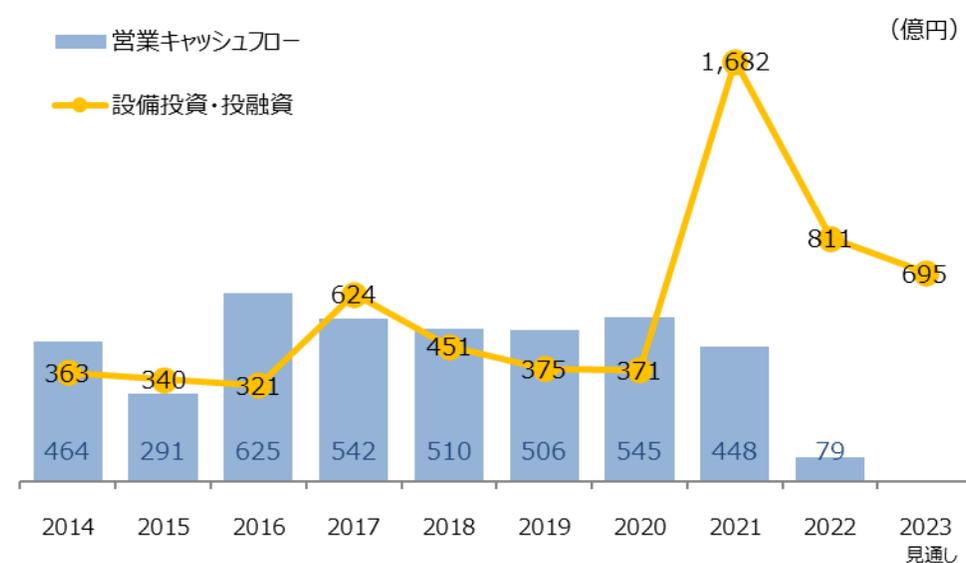
*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り : 年間配当金/期末の株価終値

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation